

第 69 期 業務報告書

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日



アルプス中央信用金庫

〒 396-8611 長野県伊那市荒井 3 4 3 8 番地 1

TEL (0265) 72-4171

FAX (0265) 72-4433

<http://www.alpuschuo-shinkin.jp>

ごあいさつ

会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より格別なるご高配を賜わり心より厚くお礼申し上げます。

ここに第69期の事業概況並びに決算状況をご報告申し上げるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年10月には全国各地に甚大な浸水被害を与えた台風19号の災害によって、長野県内においても多くの民家や店舗、工場等が損壊、浸水しました。被害に遭われた皆様には謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、令和1年度のわが国経済を振り返りますと、良好な雇用環境のもと緩やかな回復基調が継続してまいりましたが、米中貿易摩擦の長期化、中東情勢をはじめとした地政学リスクによる懸念等から製造業を中心に減速傾向が続きました。昨年秋の甚大な自然災害の発生と消費増税後の個人消費の落込みも手伝って、中小企業の景況感は先行き不透明感が高まりました。加えて、昨年末から顕在化した新型コロナウイルス感染症の世界的流行が続いており、経済活動は多大な影響を受けております。感染拡大の対応措置として、人の移動の制限等が強化されたことによって、実体経済への影響が深刻化するとともに、日本経済は短期的には大幅なマイナス成長になる可能性が高くなりました。

金融業界におきましては、日本銀行によるマイナス金利政策の長期化に伴い利鞘が縮小するなど、本業の利益を示すコア業務純益は低水準での推移を余儀なくされています。年度末には、新型コロナウイルス感染拡大を引き金とした世界的な株価急落や金利上昇などで金融市場が混乱いたしました。余資運用においても暫くは運用難が続くものと思われまます。また、金融分野におきましてもフィンテック企業などの参入により、新たなサービスの領域が広がりとつつあり、信用金庫を取り巻く経営環境に大きな変革をもたらしています。

このように大変に厳しい経営環境ではございましたが、業容面におきましては、預積金は、個人・法人ともに堅調に推移して38億円増加の3,197億円になりました。一方、貸出金は、個人の資金需要が低迷したものの、地方公共団体や金融機関向け貸出が堅調で、31億円増加の1,274億円

になりました。業績面におきましては、資金利益、役員取引等利益が増加したため業務粗利益が大幅に改善いたしました。さらに、健全性を向上するための貸倒引当金1億88百万円を積み増し、当期純利益3億42百万円を計上することができました。自己資本比率は、有価証券投資を積極的に進めてきた結果、0.70%低下の10.47%になりましたが、コア自己資本額は1億2百万円増加いたしましたので、健全性を強化することができました。

さて、当金庫では、住宅ローン営業体制の強化を図るため、昨年9月、本店営業部内に新たにローンセンターを設置いたしました。各種ローンの相談充実を図るとともに地元工務店様等との連携にも力を入れてまいります。さらに、本年4月1日、多様化する顧客ニーズに機動的に対応していくため、業務推進部を改編して営業統括部を新設いたしました。同時に、審査部にあった企業支援室を営業統括部に移設いたしましたので、営業地域内の事業者全先を訪問する「課題解決支援プロジェクト」のより一層の深化とともに、経営者の皆様への解決策の提案を通じて地域活性化を図ってまいります。

5月下旬に、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言は全都道府県で解除されましたものの、今後も新型コロナウイルス感染症の影響により地域経済の一段の冷え込みが予想されます。「地域経済を守る」という共通認識のもと、役職員一同、「Face To Face」でお客様と真摯に向き合い、地域に元気が戻るよう全力を挙げてお取引先の支援を強化してまいります所存でございます。何卒、倍旧のご愛顧とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

令和2年6月



会長 大澤一郎



理事長 吉澤祥文

当金庫の概要

- 法人成立 昭和26年4月23日
- 事業開始 昭和26年6月8日
- 出資金 10億43百万円
- 会員数 25,353名
- 本店 伊那市荒井3438番地1
- 店舗数 22店舗
- 役職員数 241名
- 預金積金 3,197億31百万円
- 貸出金 1,274億60百万円

庶務の概要

総代会

令和元年6月21日 第69期通常総代会
上伊那郡箕輪町大字中箕輪8288-1
伊那プリンスホテルにおいて開催し、下記議案がすべて原案どおり承認されました。

〔報告事項〕

- (1) 第68期業務報告の件
- (2) 第68期貸借対照表、損益計算書報告の件

〔決議事項〕

- 第1号議案 第68期剰余金処分案承認の件
第2号議案 会員の法定脱退に関する件
第3号議案 定款の一部変更承認の件

理事会・監事会

理事会 9回
(会員の異動状況承認の件、諸規程等の改訂承認の件 他)
監事会 11回

登記事項

平成31年4月5日 出資の総口数及び出資の総額 変更登記
令和元年7月17日 福岡支店住所移転登記

庶務事項

- 平成31年2月12日 日本銀行考査通知
(考査期間 令和元年5月8日～5月17日)
- 令和元年7月16日 福岡支店が南支店の店舗内店舗として
営業開始
- 令和元年9月2日 「しんきんローンセンター」開設
- 令和元年10月15日 アルプス支店を赤穂営業部の子店舗化
- 令和元年11月21日 三井住友海上火災保険との「SDGs
に関する包括連携協定」締結
- 令和2年3月12日 中小企業基盤整備機構関東本部との
業務連携・協力に関する覚書調印

トピックス

- あるしん経済文化講演会
平成31年4月13日
池上 彰氏を講師に迎え、
「目からウロコの池上解説！」
～世界情勢と国内問題～
をテーマに開催しました。



- しんきん年金友の会親睦旅行
令和元年7月4日～5日
全店の年金友の会合同による
東京宝塚劇場公演観劇の親睦
旅行を開催しました。

- あるしん『SDGs宣言』
令和元年11月11日
国際連合で採択された持続可能な開発目標に賛同し、当金庫の経営理念に基づいて、SDGs達成に向けた重点的な取組みを宣言するとともに、長野県SDGs推進企業に登録しました。

アルプス中央信用金庫『SDGs宣言』

当金庫は、国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、当金庫の基本方針、基本理念、行動方針に基づき、地域金融機関としての事業活動を遂行して、持続可能な地域社会、地域経済、地域経済の発展に貢献します。

令和元年11月11日
アルプス中央信用金庫
理事長 菅野 正 宣

SDGs達成に向けた重点的な取組み

○女性職員の組合費を削減させる。

女性職員組合の組合費削減率10% (2019年3月末: 0% → 2020年3月末: 10%)



○LED切替えによる電力使用量の削減。

電力使用量 25%削減



○取引先のSDGs達成に向けた、セミナー、新商品、サービスへの取組み。

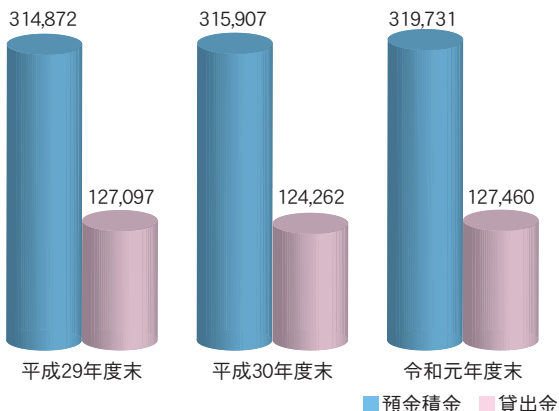
セミナー、新商品、サービス10件実施



主な経営指標の推移

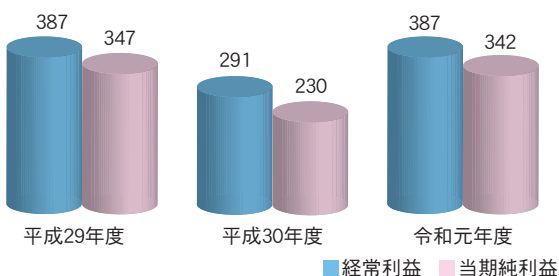
* 預金・貸出金の残高の状況

(単位:百万円)

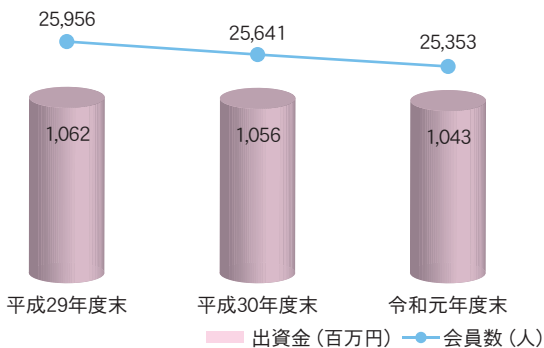


* 損益の状況

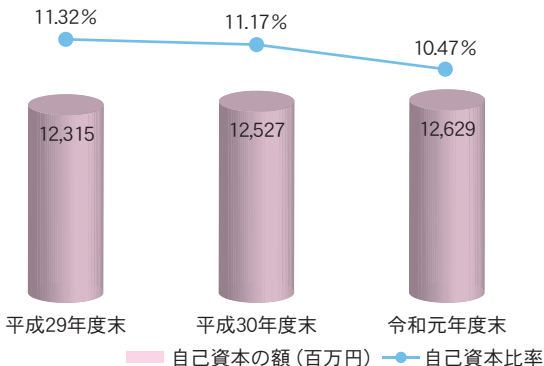
(単位:百万円)



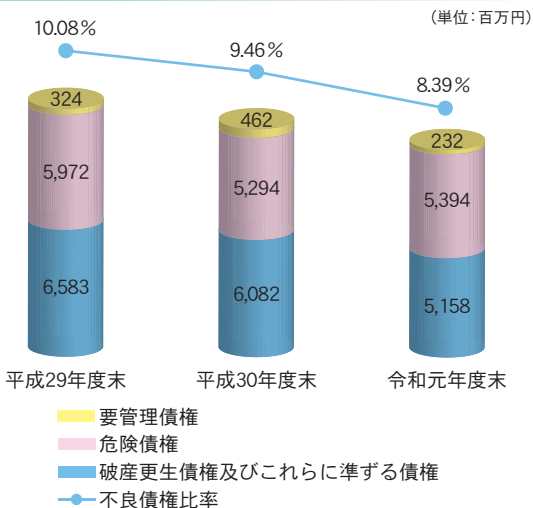
* 出資金・会員数の状況



* 単体自己資本比率の状況



金融再生法開示債権の状況



1. 金融再生法開示債権は、貸出金のほかに債務保証見返、未収利息、私募債などを含まれます。
2. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
3. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
4. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

第69期 貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現 金	6,629	預 金 積 金	319,731
預 け 金	114,413	当 座 預 金	6,340
買 入 金 銭 債 権	957	普 通 預 金	124,027
金 銭 の 信 託	1,000	貯 蓄 預 金	2,874
有 価 証 券	83,618	通 知 預 金	740
国 債	7,022	定 期 預 金	167,645
地 方 債	15,724	定 期 積 金	15,804
社 債	35,368	そ の 他 の 預 金	2,299
株 式	1,515	借 用 金	368
そ の 他 の 証 券	23,987	借 入 金	368
貸 出 金	127,460	そ の 他 負 債	653
割 引 手 形	1,227	未 決 済 為 替 借	85
手 形 貸 付	9,274	未 払 費 用	108
証 書 貸 付	108,400	給 付 補 填 備 金	20
当 座 貸 越	8,558	未 払 法 人 税 等	5
そ の 他 資 産	1,936	前 受 収 益	68
未 決 済 為 替 貸	48	払 戻 未 済 金	13
信 金 中 金 出 資 金	1,484	職 員 預 り 金	82
未 収 収 益	194	リ ー ス 債 務	200
そ の 他 の 資 産	209	資 産 除 去 債 務	16
有 形 固 定 資 産	2,935	そ の 他 の 負 債	53
建 物	1,690	賞 与 引 当 金	73
土 地	762	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	85
リ ー ス 資 産	200	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	22
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	281	偶 発 損 失 引 当 金	95
無 形 固 定 資 産	104	債 務 保 証	724
ソ フ ト ウ ェ ア	15	負 債 の 部 合 計	321,753
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	88	(純資産の部)	
前 払 年 金 費 用	22	出 資 金	1,043
繰 延 税 金 資 産	85	普 通 出 資 金	1,043
債 務 保 証 見 返	724	利 益 剰 余 金	11,775
貸 倒 引 当 金	△ 4,971	利 益 準 備 金	1,102
(うち個別貸倒引当金)	(△ 4,881)	そ の 他 利 益 剰 余 金	10,673
		特 別 積 立 金	10,250
		当 期 未 処 分 剰 余 金	423
		処 分 未 済 持 分	△ 24
		会 員 勘 定 合 計	12,795
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	367
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	367
		純 資 産 の 部 合 計	13,162
資 産 の 部 合 計	334,916	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	334,916

第69期 損益計算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
経常収益		3,892,958
資金運用収益	3,137,189	
貸出金利	1,920,754	
預け金利	127,100	
有価証券利息配当	1,049,398	
その他の受入利息	39,935	
役務取引等収益	438,504	
受入為替手数料	214,411	
その他の役務収益	224,093	
その他業務収益	58,605	
国債等債券売却益	36,292	
その他の業務収益	22,313	
その他経常収益	258,658	
償却債権取立益	245	
株式等売却益	190,487	
金銭の信託運用益	31,703	
その他の経常収益	36,221	
経常費用		3,505,620
資金調達費用	48,473	
預金利息	38,621	
給付補填備金繰入額	9,006	
借入金利息	437	
その他の支払利息	407	
役務取引等費用	333,718	
支払為替手数料	72,017	
その他の役務費用	261,700	
その他業務費用	33,204	
国債等債券売却損	83	
国債等債券償還損	31,071	
その他の業務費用	2,048	
経常費用	2,813,401	
人件費	1,658,017	
物件費	1,093,926	
税	61,457	
その他経常費用	276,822	
貸倒引当金繰入額	188,927	
株式等償却	22,504	
その他の経常費用	65,390	
経常利益		387,337
特別利益		38
その他の特別利益	38	
特別損失		23,366
固定資産処分損失	1,926	
減損損失	21,440	
税引前当期純利益		364,009
法人税、住民税及び事業税	5,724	
法人税等調整額	15,547	
法人税等合計		21,272
当期純利益		342,736
繰越金(当期首残高)		80,686
当期末処分剰余金		423,422

第69期 剰余金処分

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

科 目	金 額 (円)
当 期 未 処 分 剰 余 金	423,422,833
剰 余 金 処 分 額	370,786,782
普通出資に対する配当金(年2%)	20,786,782
特 別 積 立 金	350,000,000
繰 越 金(当 期 末 残 高)	52,636,051

以上のとおりであります。

令和2年6月26日



アルプス中央信用金庫

会 長	大 澤 一 郎
理 事 長	吉 澤 祥 文
専務理事	宮 下 兼 秋
常務理事	牧 田 和 弘
常務理事	原 英 則
常勤理事	唐 澤 英 一
常勤理事	地 田 俊 彦
理 事	塚 越 寛
理 事	山 浦 速 夫
理 事	佐々木 正 博
理 事	馬 淵 泰 太 郎
常勤監事	唐 澤 伸 彦
監 事	高 坂 建 樹
員外監事	野 澤 章 泰

新型コロナウイルス感染症対応について

この度の新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

当金庫では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、事業活動への影響を受けている、または受けるおそれがある中小企業の皆さま、個人事業主様への資金繰りのご相談に対応するため、各営業店に相談窓口を開設しております。各種制度資金等の新規のお借入のご相談や、既存のお借入のご返済条件の変更のご相談、また、所得の減少等の影響による個人のお客様の住宅ローン等のご返済の相談にも対応させていただきます。

新型コロナウイルス感染症で 影響を受ける事業者の皆様へ

例えば、こんな課題はありませんか？

- 売上が減少して困っている。
- 支払いに支障が出ないか不安。
- 今はまだ大丈夫だが、これからが心配。
- どんな支援メニューがあるのか良くわからない。
- 誰に相談したらいいのだろうか？

早めの相談が大切です。

私たちに **遠慮なくご相談** ください。

相談窓口を開設しています

- 【平日】窓口での相談：9：00～15：00
お電話による相談：9：00～17：00
【日曜日】ローンセンターでの相談
10：00～17：00（TEL0265-98-0077）



アルプス中央信用金庫

詳しくは、最寄りの店舗までお気軽にお問い合わせください。
連絡先のお問い合わせはTEL72-4171（代表）までご連絡ください。

店舗のご案内

◎本店営業部	伊那市荒井3438番地1	(0265)72-4171
◎赤穂営業部	駒ヶ根市北町8番14号	(0265)82-3151
◎宮田支店	宮田村3320番地3	(0265)85-3300
◎飯島支店	飯島町飯島1445番地1	(0265)86-3147
◎上片桐支店	松川町上片桐3647番地	(0265)37-2121
◎赤穂東支店	駒ヶ根市東町8番10号	(0265)82-6131
◎福岡支店	駒ヶ根市赤穂10790番地8(南支店内)	(0265)82-3141
◎中川支店	中川村片桐4080番地1	(0265)88-3333
◎南支店	駒ヶ根市赤穂10790番地8	(0265)82-5507
◎アルプス支店	駒ヶ根市赤穂1293番地2	(0265)81-1311
◎伊那北支店	伊那市山寺3174番地7	(0265)72-3118
◎辰野支店	辰野町大字辰野1636番地9	(0266)41-0005
◎箕輪支店	箕輪町大字中箕輪9489番地1	(0265)79-2205
◎高遠支店	伊那市高遠町西高遠1660番地1	(0265)94-2133
◎小野支店	辰野町大字小野1270番地1	(0266)46-3131
◎宮木支店	辰野町大字辰野1636番地9(辰野支店内)	(0266)41-3481
◎春近支店	伊那市西春近5242番地2	(0265)78-6969
◎竜東支店	伊那市中央4697番地1	(0265)73-3172
◎南箕輪支店	南箕輪村3115番地1	(0265)76-1011
◎信大前支店	南箕輪村8304番地72	(0265)76-5551
◎いほく支店	箕輪町大字中箕輪1850番地	(0265)79-1300
◎ナイスロード支店	伊那市荒井3438番地1(本店営業部内)	(0265)74-7701

店舗外キャッシュコーナーのご案内

駒ヶ根地区

- ◎駒ヶ根駅前ビル「アルパ」
- ◎宮の前出張所
中沢出張所
- ◎ベルシャイン駒ヶ根店
- ◎ニシザワ福岡食彩館

飯島・中川地区

- ◎七久保コミュニティーセンター
大草出張所

辰野地区

- ◎辰野町役場前
- ◎宮木出張所
- ◎ニシザワ辰野食彩館

伊那地区

- ◎伊那市駅前ビル「いなっせ」
伊那市役所
伊那中央病院
伊那東出張所
野底出張所
みすず出張所
- ◎ベルシャイン伊那店
- ◎ニシザワ双葉食彩館
- ◎ニシザワ春近食彩館
- ◎ニシザワ高遠食彩館
- ◎アビタ伊那店

箕輪・南箕輪地区

- ◎木下出張所
- ◎箕輪ショッピングセンター
- ◎ベルシャイン箕輪店
- ◎ベルシャイン伊北店
- ◎ニシザワ信大前食彩館